

平成 28 年度 第 3 回 二宮町地域公共交通活性化協議会議事要旨

開催日時	平成 29 年 3 月 9 日（木） 13:30～15:30	
開催場所	二宮町役場 2 階 第 1 会議室	
出席者	委員	出席者 15 名（うち代理出席 4 名）、欠席 5 名
	その他	傍聴 1 名
	事務局	政策総務部 3 名、都市部 1 名
会議次第	1. 開会 2. あいさつ 3. 議題 (1) コミュニティバス・デマンドタクシーの利用状況について (2) コミュニティバス運行ルート（案）及び時刻表（案）に対する 意見募集結果と意見に対する回答について (3) コミュニティバスの見直し運行について (4) コミュニティバスのラッピングについて (5) 乗り支える仕組みの導入について (6) 平成 29 年度 歳入歳出予算（案）について (7) その他 4. 閉会	

協議会委員出席名簿

No	氏 名	所 属	出欠	備 考
1	長尾 秀美	二宮町	○	
2	吉野 茂	神奈川中央交通株式会社	○	
3	小嶋 光行	相模中央交通株式会社	○	
4	山崎 利通	一般社団法人神奈川県バス協会	○	
5	露木 幸一	一般社団法人神奈川県タクシー協会	○	
6	飯島 貴夫	二宮町地区長連絡協議会	×	
7	芳賀 真郎	二宮町老人クラブ連合会	×	
8	稲葉 通隆	二宮町 P T A 連絡協議会	×	
9	一石 洋子	二宮町議会	○	
10	高見 利和	一般公募	○	
11	依田 久司	一般公募	○	
12	三上 弘良	国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局	○	
13	安達 敏行	神奈川交通運輸労働組合	×	
14	小内 薫	神奈川県平塚土木事務所	○	代理（戸田）
15	福島 温	神奈川県県土整備局	○	代理（金岡）
16	成川 一	二宮町都市部	○	代理（宮嶋）
17	伊澤 浩明	神奈川県大磯警察署	○	
18	永井 好紀	J R 東日本旅客鉄道株式会社横浜支社	×	

19	大森 宣暁	宇都宮大学大学院工学研究科	○	
20	宮川 康廣	二宮町健康福祉部	○	代理 (戸丸)

議事概要

1. 開会

2. あいさつ

3. 議題

- (1) コミュニティバス・デマンドタクシーの利用状況について
- (2) コミュニティバス運行ルート（案）及び時刻表（案）に対する意見募集結果と意見に対する回答について
- (3) コミュニティバスの見直し運行について
- (4) コミュニティバスのラッピングについて
- (5) 乗り支える仕組みの導入について
- (6) 平成29年度 歳入歳出予算（案）について
- (7) その他

◎は会長、○は委員、●は事務局の発言

・議題（1）コミュニティバス・デマンドタクシーの利用状況について

- 資料1におけるデマンドタクシーの利用実績に誤りがありましたので修正します。
質疑なし

・議題（2）コミュニティバス運行ルート（案）及び時刻表（案）に対する意見募集結果と意見に対する回答について

◎中里のバス停移設に関するご意見に対する回答は、「意見を参考にして」などに表現を修正し、オンデマンドバスに関するご意見に対する回答は、これまでのデマンドタクシーの利用実績や料金が高いなどの課題を追加した方が良い。

●修正します。

○意見を提出した方は、現在のコミュニティバスやデマンドタクシーに乗っている方あるいは交通弱者の方であるかわかりますか。

●意見を提出する際には、氏名と住所の記載を求めているため、交通不便地域にお住まいかどうかは確認ができます。しかし、コミュニティバスやデマンドタクシーに乗っているかどうかは確認できません。

◎その他路線バスに関するご意見に対する回答において、「協議会で共有し、あり方を検討する」としているが、どのように行うのか。

●路線バスの減便でお年寄りがお年寄りに席を譲っている状態があるというご意見については、ご意見を確認後、すぐに、交通事業者に情報提供と確認を行いました。実績を確認したところ、現状ではそのような利用状況ではないとのことであり、ご意見の趣旨がわかりませんでした。また、路線バスの運行経路の変更や増便に関するご意見については、運行事業者も協議会に参画していただいていることから、情報提供を行い改善策があれば協議会としても検討していくことを考えています。

○昨年行ったアンケート結果からも5、10年後に自家用車を運転することができなくな

り、今の路線バスとコミュニティバスだけでは移動できなくなる方が多くなることがわかっている。これからの地域公共交通は、運行する側から乗り支えてもらう提案だけでなく、地域や自分たちで問題を解決する手法を考えてもらい、地域などで検討する地域協議会のような組織を考える必要があると思う。

●これまで地域の要望内容を基に運行を行ってきましたが、結果として乗降につながっていない状況にあります。今回の見直しで、乗降場所の集計を行うことから実績を基に地域に説明し、乗っている地域はより乗っていただくための検討を、また、乗っていない地域には乗っていただくよう促進することを考えています。

○本来、要望について検討する上で、ただ意見を言っている方なのか、実際に利用している方の意見なのか、きちんと区別した上で、利用している方の意見を重視する必要がある。

●意見募集にあたり、富士見が丘地区の意見やコミュニティバス車内の意見書の減り方が多かったことから、利用している方や利用しようとしている方の意見が多いと想定しています。

◎5年後、10年後など状況に応じて見直しが必要である。

●事務局においても路線バスやコミュニティバスだけで5年後、10年後の交通弱者に対応した施策ができるとは考えておらず、その時期に向けて今のデマンドタクシーではなく、改良した方法を検討する必要もあると考えています。

・議題（3）コミュニティバスの見直し運行について

○全便が通るバス停は問題ないが、それ以外のバス停は間隔が空き過ぎる。ルート of 順番を変更することは可能か。

●運行ルートのパターンを混合することも検討しましたが、中学生の利用を想定すると第7便と夕方便を変更することはできず、また、分かりやすいルートとするには今回の案が最良と考えています。

○地区によって意見が変わるため、全てを網羅することは難しいが、利用者が何を求めているか今後、データで把握する必要がある。

●今後、数字を捉え、実績を基に運行ルートの短縮や延長も検討していきたいと考えています。

◎各便の設定において、2ルートを設定しているが組み合わせは他にもあるため、検討する必要があるのではないか。右左と考えると4ルートとなり、午前に運行できるのは4便のため1ルートずつしかなく、乗った場所から戻ってくるのに時間が短いところも存在する。例えば富士見が丘児童館前を利用している方は、行きと帰りの時間までが短い極端に長くなるのが想定される。

●どのシミュレーションを行っても、どこかの地域に偏りが出てしまいます。第7便と夕方便が固定となっているため、変更は難しいと思います。

◎利用用途によっては不便となるのが想定される。

●実績を把握し、今後検討していきたいと考えています。

○富士見が丘のルートが分岐するエリアは高低差があるが、歩けない距離ではない。バス停の表示でわかりやすくすることで、対応したらどうか。

●バス停の表示を工夫していきます。

○バスが生活パターンに合っていないことで不便だということであれば、生活のスタイル

をバスに合わせていくという意見もある。バスを2台運行できないならば出来る部分で工夫をし、理解を得ながらやっていくことでやむを得ないと思う。

○山西小学校前と西公園などの組み合わせの検討も考えてみる必要がある。

●今回の見直しでは、わかりやすいルートを前提にしています。複雑な組み合わせをすると、このバスに乗ったらどこに行くのかわかりづらくなることが想定されるため、運行する時間の均一化が図れるルートとする設定にしました。資料5時刻表のバス停について誤りがありましたので修正を行います。後日、修正したものを送付します。

◎バス停ごとの一覧を作成したらどうか。

●作成し、送付します。

◎時刻表などの確定は今回しなければならないのか。

●次回、運行申請の協議となりますので、大枠は今回決めていただきたいと思います。

◎組み合わせの検討はできないのか。

○運行事業者としては、今までわかりにくかった時刻表をわかりやすくするため、団地中央を毎時00分としていること、路線バスの補完として運行しているコミュニティバスという意味、中学生を考慮した便などの制限がある中で、この案が最善と考えている。新設の運行経路となるため、申請に期間を要することから、次回の協議会で決定することでは遅すぎる。

◎各委員に異論がなければ、事務局の案で決定することよろしいか。

○異議なし

●資料の追加や修正をし、後日、送付します。

・議題（4）コミュニティバスのラッピングについて

○乗り支える仕組みにおけるぬり絵コンテストとはどのようなものか。

●ふるさとまつりなどにおいて、ブースを設け、ぬり絵などをしてもらい、その作成したぬり絵をバス車内に展示して運行することなどを考えています。

○決まったデザインにぬり絵をさせるのではなく、デザインさせてもよいのではないか。

●詳細はまだ決めていないため、今後、協議会で検討していただきます。

○車両に広告掲載することは考えているか。

●車両の後面に広告する場所は確保していきたいと考えています。あわせて、協賛していただける団体の募集をしていくことを考えています。

・議題（5）乗り支える仕組みの導入について

○手形の導入ということだが、手形を買って乗るときにもお金を払うことは手間になるため、定期券みたいにしたらどうか。無料としない理由は何か。

●無料としない理由は特にありませんが、販売金額を想定したところ、定期券は高額となるため、買う人が少ないと考えています。

◎ICは導入しないのか。

●コミュニティバスでは路線バスと違う運賃設定を行っているため、設置費用が高額となり、導入費用に比べて効果が見込めないため、今回は見送る予定です。

○バス停において、待合のベンチが必要と感じている。駅前にスペースを取らないバ
ータイプのベンチがある。検討したらどうか。

●諸手続きがあるため、町で設置することは、考えていません。地域主導で仮置きす
ることは可能と考えています。

○手形の初回購入キャンペーンを実施したらどうか。

●広報誌にお試し乗車券を掲載することは検討していますが、手形の割引は考えてい
ません。

◎手形のサイズはどのようなものか。

●バス定期券のサイズになります。神奈川中央交通が実施しているかなちゃん手形の
ようなものです。

◎手形のデザインは行うのか。

●ラッピングバス同様にニーノ等をデザインする予定です。

○ミーヤ手形の高齢者を75歳以上と設定した理由はなにか。

●道路交通法が改正され免許更新時の認知症検査が75歳以上の方から対象となるた
め、その年齢で設定しました。免許返納者に提供するのニーノ手形を設定していま
すが、75歳以上の方は差額を支払うことでミーヤ手形に変更できることにしたいと
考えています。

◎妊娠期や未就学児の保護者はどのように確認するのか。

●母子手帳や未就学児の保護者は保険証で確認をする予定です。

○保護者が祖父や祖母の可能性も想定される。

●確認する必要はありますが、乗っていただくことが重要と考えているため、運用を
厳格に行う予定ではありません。

◎子供と同乗時に限定したらどうか。

●親子で乗ってもらうのではなく、子育て世代を応援することを目的としています。

○厳格に行うことよりも、利用者をまず増やすことが大事と考えるべき。

○子供料金は通常料金の半額のままか。

●変更することは考えていません。

○運賃を無料とすることを検討してもよいと思う。

●地域公共交通は乗り支えてもらう必要があるため、利用が増えることは重要ですが、
同時に、維持し続けることも必要ですので、無料とすることは考えていません。

◎商業施設との連携はどうなっているか。

●今後、商業施設と協議し検討していきます。

●手形の他に定期券の導入の検討は行いますか。

○今回は導入しなくてもよい。利用状況を見ながら検討していくことで構わない。

・議題（6）平成29年度 歳入歳出予算（案）について
質疑なし

・議題（7）その他

●本日の協議会を踏まえて、資料1、資料2の別紙及び資料5の修正に加え、バス停
ごとの時刻表を追加作成したものを後日送付します。確認いただき、問題がなければ

資料2及び別紙はホームページで公表を行いますので、ご了承ください。

以上